

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【公表番号】特表2000-511521(P2000-511521A)

【公表日】平成12年9月5日(2000.9.5)

【出願番号】特願平9-540960

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 49/00

// C 0 7 D 235/06

C 0 7 D 277/64

C 0 7 D 293/10

C 0 7 D 293/12

C 0 7 D 417/14

【F I】

A 6 1 K 49/00 A

C 0 7 D 235/06

C 0 7 D 277/64

C 0 7 D 293/10

C 0 7 D 293/12

C 0 7 D 417/14

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月22日(2004.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年 4月22日



特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成09年特許願第540960号

2. 補正をする者

氏名(名称) マリンクロッド・インコーポレイテッド

3. 代理人

住所

〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名

弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容
別紙のとおり。

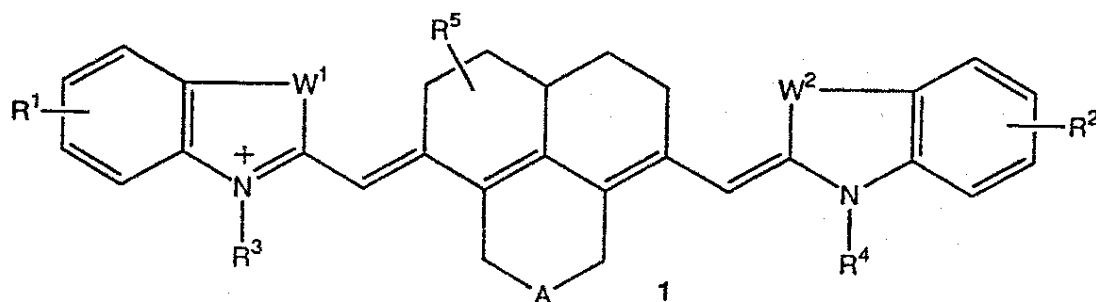
方 式 査 査



(別紙)

請求の範囲

1. 式:



式中、 R^1 、 R^2 および R^5 は同一または異なってもよく、水素、 C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} アルコキシル、ヒドロキシル、 C_1-C_{10} ヒドロキシアルキル、 C_1-C_{10} アルコキシアルキル、 C_1-C_{10} アリール、カルボキシル、 C_1-C_{10} カルボキシアルキル、ハロゲン、ニトロ、 C_1-C_{10} アルコシカルボニル、メルカプト、 C_1-C_{10} メルカプトアルキル、 C_1-C_{10} アルキルチオ、スルホネート、および $-(CH_2)_m-N(R^6)(R^7)$ 、但し、 R^6 および R^7 は独立して水素または C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} アシルであり、 R^6 および R^7 は所望により $-O-$ 、 $-NR^8$ または $-S-$ で置換されていてもよい5、6または7員環を形成する能力があるものである、からなる群から選択され； R^3 および R^4 は同一または異なってもよく、 C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} ヒドロキシアルキル、 C_1-C_{10} アルコキシアルキル、 C_1-C_{10} アリール、 C_1-C_{10} カルボキシアルキル、 C_1-C_{10} アルキルスルホネート、メルカプトアルキル、および $-(CH_2)_m-N(R^6)(R^7)$ からなる群から選択され； W^1 および W^2 は同一または異なってもよく、 $-S-$ 、 $-O-$ 、 $-Se-$ 、 $-Te-$ 、 $-NR^8$ および $C(R^9)(R^{10})$ からなる群から選択され； m は約0-10であり； R^8 は水素、 C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} アルコキシ、 C_1-C_{10} メルカプトアルキル、ヒドロキシル、 C_1-C_{10} ヒドロキシアルキル、 C_1-C_{10} アルコキシアルキル、 C_1-C_{10} アリール、 C_1-C_{10} カルボキシアルキル、 C_1-C_{10} アルコシカルボニル、 C_1-C_{10} アルキルチオ、および $-(CH_2)_m-N(R^6)(R^7)$ であり； R^9 および R^{10} は独立して水素、 C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} ア

ルコキシル、 C_1-C_{10} ヒドロキシアルキル、 C_1-C_{10} アルコキシアルキル、 C_1-C_{10} カルボキシアルキル、 C_1-C_{10} アルコキシカルボニルおよび $-(CH_2)_m-N(R^6)(R^7)$ であり；そして、Aは $-(CH_2)_m-$ 、 $-C(R^9)(R^{10})$ 、 $-(CH_2)_m-N(R^6)(R^7)$ 、 $-O-$ 、 $-S-$ 、または $-NR^8$ からなる群から選択される、

で示される化合物を含んで成る、診断用組成物。

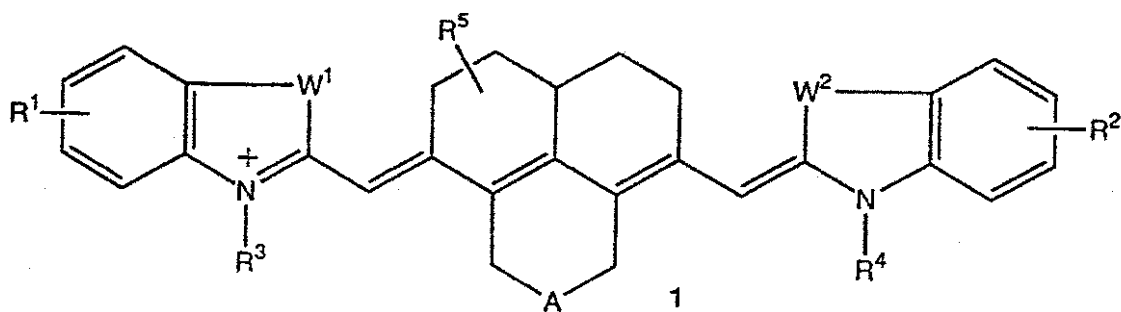
2. R^1 、 R^2 および R^5 は独立して、水素、 C_1-C_{10} アルキル、ヒドロキシル、 C_1-C_{10} アルコキシル、カルボキシル、ハロゲン、ニトロ、スルホネート、または $-(CH_2)_m-N(R^6)(R^7)$ 、式中、mは約0-10である、であり； R^3 および R^4 は独立して、 C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} ヒドロキシアルキル、 C_1-C_{10} カルボキシアルキル、または $-(CH_2)_m-N(R^6)(R^7)$ であり； R^6 および R^7 は独立して水素、 C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} アシル、およびヒドロキシアルキルであり； W^1 および W^2 は独立して、 $-S-$ または $-C(R^9)(R^{10})$ 、但し、 R^9 および R^{10} は独立して水素、 C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} ヒドロキシアルキル、 C_1-C_{10} カルボキシアルキルまたは $-(CH_2)_m-N(R^6)(R^7)$ である、であり；mは約1-10であり； R^8 は水素、 C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} ヒドロキシアルキル、 C_1-C_{10} カルボキシアルキルまたは $-(CH_2)_m-N(R^6)(R^7)$ であり；そして、Aは $-(CH_2)_m$ または $-(CH_2)_mN(R^6)(R^7)$ であり得る、請求の範囲第1項記載の組成物。

3. R^1 は水素であり； R^2 は水素であり； R^3 はメチルであり； R^4 はメチルであり； R^5 はメトキシカルボニルであり； W^1 は $-S-$ であり； W^2 は $-S-$ であり；Aは $-CH_2-$ である、請求の範囲第2項に記載の組成物。

4. R^1 は水素であり； R^2 は水素であり； R^3 はメチルであり； R^4 はメチルであり； R^5 はメトキシカルボニルであり； W^1 は $-S-$ であり； W^2 は $-S-$ であり；Aは $-O-$ である、請求の範囲第2項に記載の組成物。

5. R^1 は水素であり； R^2 は水素であり； R^3 はメチルであり； R^4 はメチルであり； W^1 は $-S-$ であり； W^2 は $-S-$ であり；Aは $-NR^8$ 、式中 R^8 はカルボキシメチルである、である、請求の範囲第2項に記載の組成物。

6. 診断上有効量の式：



式中、 R^1 、 R^2 および R^5 は同一または異なってもよく、水素、 C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} アルコキシル、ヒドロキシル、 C_1-C_{10} ヒドロキシアルキル、 C_1-C_{10} アルコキシアルキル、 C_1-C_{10} アリール、カルボキシル、 C_1-C_{10} カルボキシルアルキル、ハロゲン、ニトロ、 C_1-C_{10} アルコシカルボニル、メルカプト、 C_1-C_{10} メルカプトアルキル、 C_1-C_{10} アルキルチオ、スルホネート、および $-(CH_2)_m-N(R^6)(R^7)$ 、但し、 R^6 および R^7 は独立して水素または C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} アシルであり、 R^6 および R^7 は所望により $-O-$ 、 $-NR^8$ または $-S-$ で置換されていてもよい5、6または7員環を形成する能力があるものである、からなる群から選択され； R^3 および R^4 は同一または異なってもよく、 C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} ヒドロキシアルキル、 C_1-C_{10} アルコキシアルキル、 C_1-C_{10} アリール、 C_1-C_{10} カルボキシルアルキル、 C_1-C_{10} アルキルスルホネート、メルカプトアルキル、および $-(CH_2)_m-N(R^6)(R^7)$ からなる群から選択され； W^1 および W^2 は同一または異なってもよく、 $-S-$ 、 $-O-$ 、 $-Se-$ 、 $-Te-$ 、 $-NR^8$ および $C(R^9)(R^{10})$ からなる群から選択され； m は約0-10であり； R^8 は水素、 C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} アルコキシ、 C_1-C_{10} メルカプトアルキル、ヒドロキシル、 C_1-C_{10} ヒドロキシアルキル、 C_1-C_{10} アルコキシアルキル、 C_1-C_{10} アリール、 C_1-C_{10} カルボキシルアルキル、 C_1-C_{10} アルコシカルボニル、 C_1-C_{10} アルキルチオ、および $-(CH_2)_m-N(R^6)(R^7)$ であり； R^9 および R^{10} は独立して水素、 C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} アルコキシル、 C_1-C_{10} ヒドロキシアルキル、 C_1-C_{10} アルコキシアルキル、 C_1-C_{10} カルボキシアルキル、 C_1-C_{10} アルコシカルボニルおよび $-(CH_2)_m-N(R^6)(R^7)$ であり；そして、 A は $-(CH_2)_m-$ 、 $-C(R^9)(R^{10})-$ 、

$(\text{CH}_2)_m-\text{N}(\text{R}^6)(\text{R}^7)$ 、 $-\text{O}-$ 、 $-\text{S}-$ 、または $-\text{NR}^8$ からなる群から選択される、

で示される化合物を投与することを含んでなる、患者のイメージング法。

7. R^1 、 R^2 および R^5 は独立して、水素、 C_1-C_{10} アルキル、ヒドロキシ、 C_1-C_{10} アルコキシ、カルボキシ、ハロゲン、ニトロ、スルホネート、または $-(\text{CH}_2)_m-\text{N}(\text{R}^6)(\text{R}^7)$ 、但し、 m は約0-10である、であり； R^3 および R^4 は独立して、 C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} ヒドロキシアルキル、 C_1-C_{10} カルボキシアルキル、または $-(\text{CH}_2)_m-\text{N}(\text{R}^6)(\text{R}^7)$ であり； R^6 および R^7 は独立して水素、 C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} アシル、およびヒドロキシアルキルであり； X は $-\text{O}-$ 、 $-\text{NR}^8$ または $-\text{S}-$ であり； W^1 および W^2 は独立して、 $-\text{S}-$ または $-\text{C}(\text{R}^9)(\text{R}^{10})$ 、但し、 R^9 および R^{10} は独立して水素、 C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} ヒドロキシアルキル、 C_1-C_{10} カルボキシアルキルまたは $-(\text{CH}_2)_m-\text{N}(\text{R}^6)(\text{R}^7)$ である、であり； m は約1-10であり；そして、 R^8 は水素、 C_1-C_{10} アルキル、 C_1-C_{10} ヒドロキシアルキル、 C_1-C_{10} カルボキシアルキルまたは $-(\text{CH}_2)_m-\text{N}(\text{R}^6)(\text{R}^7)$ であり；そして、 A は $-(\text{CH}_2)_m$ または $-(\text{CH}_2)_m\text{N}(\text{R}^6)(\text{R}^7)$ であり得る、請求の範囲第6項記載の方法。

8. R^1 は水素であり； R^2 は水素であり； R^3 はメチルであり； R^4 はメチルであり； R^5 はメトキシカルボニルであり； W^1 は $-\text{S}-$ であり； W^2 は $-\text{S}-$ であり； A は $-\text{CH}_2-$ である、請求の範囲第7項に記載の方法。

9. R^1 は水素であり； R^2 は水素であり； R^3 はメチルであり； R^4 はメチルであり； R^5 はメトキシカルボニルであり； W^1 は $-\text{S}-$ であり； W^2 は $-\text{S}-$ であり； A は $-\text{O}-$ である、請求の範囲第8項に記載の方法。

10. R^1 は水素であり； R^2 は水素であり； R^3 はメチルであり； R^4 はメチルであり； W^1 は $-\text{S}-$ であり； W^2 は $-\text{S}-$ であり； A は $-\text{NR}^8$ 、式中 R^8 はカルボキシメチルである、である、請求の範囲第9項に記載の方法。